

第10講 第一次世界大戦期～戦間期の東アジアと太平洋戦争

- ① 1911年に中国で起きた革命の直接的な契機について述べた文として正しいものを1つ選べ。
- ①外国借款の担保とするために、政府が民間鉄道の国有化を発表した。
 - ②リットン調査団が、鉄道爆破事件に関する報告をした。
 - ③孫文が中華民国を建国し、都を北京に置いた。
 - ④東清鉄道の敷設権が、外国に与えられた。
- ② 20世紀初めの日本の動きについて誤っているモノを1つ選べ。
- ①日英同盟を理由にWW Iに参戦
 - ②孫文は日本の21か条要求を受け入れた。
 - ③朝鮮で起きた三・一運動を弾圧した
 - ④九ヵ国条約で山東半島を失った
- ③ 文学革命・五・四運動に関する文章です。正しいモノを1つ選べ。
- ①毛沢東は、『新青年』を刊行し、新文化運動を展開した。
 - ②魯迅の提唱した白話運動が文学革命の契機となった。
 - ③五・四運動により、中国軍閥政権は崩壊した。
 - ④中国軍閥政権はヴェルサイユ条約への批准を拒否した。
- ④ 三・一運動の影響を受けた孫文は広州で中華革命党に改編、21年に陳独秀は南京で中国共産党を設立し、ともに奉天の軍閥政権の打倒を目指した。
- ⑤ 2つの国共合作の流れを年代順に並べ替えなさい。
- ①第1次国共合作 ②第2次国共合作 ③西安事件 ④上海クーデタ ⑤長征
- ⑥ 蒋介石は、南京に国民政府を打ち立てた後、上海クーデタを鎮圧して、共産党を受入れた。
- ⑦ 北伐の流れを年代順に並べ替えなさい。
- ①上海クーデタ ②済南事件 ③張作霖爆殺 ④南京占領 ⑤北京占領
- ⑧ 1920～30年代に一度も国民政府の所在地とならなかった都市を、次の①～④のうちから1つ選べ。
- ①重慶 ②広州(広東) ③南京 ④瑞金
- ⑨ 1930年代の中国共産党の活動について述べた次の文①～④のうちから、正しいものを1つ選べ。
- ①国民党に根拠地を包囲された共産党勢力は、瑞金から重慶へと長征(大西遷)を行った。
 - ②反ファシズムの一環として、コミンテルンは八・一・一宣言を発して民族統一戦線の結成を呼びかけた。
 - ③柳条湖事件の直後、国民党と共産党は、日本軍の侵攻に対抗して、第一次国共合作を結成した。
 - ④国共両党が協力して反攻したため、日本軍は黄河以南に進むことができなかった。

⑩ 日本の中国進出の出来事を正しく並べ替えなさい。

- ①盧溝橋事件 ②柳条湖事件 ③国際連盟脱退 ④満州国建国

⑪ 1930年代に東アジアで起きた出来事として、正しいモノを1つ選びなさい。

⑫ 蒋介石を西安に監禁し、抗日統一戦線結成を求めた人物と最も関係の深い用語はどれか。

- ①共産党員 ②張作霖の子 ③反共 ④農民出身

⑬ 次の波線部のうち誤りのあるものを1つ選べ。

国民政府の拠点を広州まで南下させた蒋介石と対立した汪兆銘は、南京に国民政府を作るが、日本の干渉を受け、傀儡政権となった。

⑭ 日本の動静を年代順に並べたものはどれか、選べ。

- A 日ソ中立条約 B 北部ベトナム進駐 C 真珠湾奇襲

- ①A→C→B ②A→B→C ③C→A→B ④C→B→A ⑤B→A→C

⑮ 日本・ドイツの敗戦前後の流れで正しいモノを選べ。

- ①ノルマンディー上陸作戦後に、ドイツはスターリングラードの戦いで敗北した。
②ポツダム会談では、敗戦後のドイツの処理について話し合われた。
③日本の敗戦後、沖縄は占領され、1950年代後半に返還された。
④日本はサンフランシスコ平和条約で独立を認められた。